

平成 27 年度大阪府立池田北高等学校 第 3 回学校協議会記録（概要）

1 日 時： 平成 28 年 2 月 15 日（月） 午前 10 時 30 分～正午

2 場 所： 大阪府立池田北高等学校 校長室

3 協議会委員：

① 協議会委員（委嘱委員）

〈敬称略〉

会 長	木村 寛仁	大阪音楽大学 音楽学部 教授	学識経験者
会長代行	西留 清信	池田市立ほそごう学園 学園長 (細郷中学校 校長)	学識経験者
	三木 裕之	池田市立児童館 館長	地域の住民
	野村 剛志	大阪府立池田北高等学校同窓会会長	その他関係者
	堀田 守	阪急田園バス株式会社 伏尾台支社長	その他関係者
	原口 恵美	大阪府立池田北高等学校 PTA 会長	保護者代表

② 事務局員（校内出席者）

校 長	若林 智子	事 務 長	東筋 和裕
教頭(事務局長)	田畑 匡	首 席	山本 進
教 頭	檜山 泰範	※記録：首席	

4 内 容：

配付資料の確認 / 学校協議会開会

(1) 学校長あいさつ並びに近況報告

(2) 協議・連絡

① 平成 27 年度学校経営計画及び学校評価（案）について

学校教育自己診断結果等をふまえて

② 平成 28 年度学校経営計画（案）について

③ 保護者からの意識調査の現状報告について

④ その他

(3) 諸連絡

5 校長挨拶及び近況報告：

・ 前回の学校協議会以降の学校行事等を中心にした近況報告

11 月：人権講演会（講師：ちゃんへん） 12 月：2 年生北海道修学旅行

1 月：音楽コースの行事（卒業演奏会／特別公開講座 箏曲／芸術発表会）

* 芸術発表会は全生徒参加行事とし、3 学年揃った本当に最後の行事となった。

* 来年度は、音楽専門コース（3 年生）の人数が、17 名にほぼ倍増する。

・ 現在は 1・2 年生が一人でも多く進級できるよう教職員全体で 努めているところだが、1 年生は本校でのやり直しができない状況なので早目の転学や退学になる傾向がある。

6 協 議・連 絡：

① 平成 27 年度 学校経営計画及び学校評価（案）について

一学校教育自己診断結果（生徒版・保護者版・教職員版・経年変化版）等をふまえて一
▽校長より

- ・自己診断結果を事前送付することができず、配付資料として見て頂き、すぐに意見を求めるような形になったことへの謝罪をした。
- ・前回の学校協議会でご承認いただいた「質問項目をこれまでより大幅に削減する自己診断」を実施したが、同類の項目については3か年の変化をグラフ化した。
- ・肯定感の向上傾向にあるが、授業については厳しい結果が出ていると判断している。更に、授業の工夫が必要だと考えている。
- ・30期生の進路先一覧についても説明し、評価できる事柄としてとらえている。

▽委員より

- ・「学校が楽しいかどうか」の項目に保護者の肯定感が高く、また、「池北に進学させて良かった」の数値も高いのは評価できるところだと思う。
- ・遅刻数の減少の校長評価について、目標数値が達成できているのに△評価をしていることの理由が知りたい
一遅刻を繰り返している生徒の改善に至っていないことを考えた
一遅刻数の減少は教職員の指導の成果であると考え。評価は○にしても良いと思う。
☞ 皆さんの了承を得て、○にすることとした。

② 平成 28 年度 学校経営計画（案）について

▽校長より

- ・何よりも、転・退学者数の減少をめざし、一人でも多くの卒業生を出したい。
- ・新しい取組みとして、生徒に日々の学校生活の中で「自分をほめる（or 認める）」事柄を振り返らせ、教職員と共有する「ほめ日記」の導入を考えている。
- ・来年度の体育祭は、卒業生や保護者等が参加しやすいように、土曜日に開催する。また、2学年合同の行事として芸術鑑賞会を12月に予定している。
- ・「明るく閉じる」を合言葉に、チーム池北として頑張っていく。

▽委員より

- ・「ほめ日記」は、良い取組みだと思う。
- ・「学校を閉じる」という経験ができることを良いことと捉え、あと2年間やりたいこと、やってみると良いと思うことをどんどんやれば良いと思う。
- ・残った2学年の生徒たちが、「池北に来て良かった」と思えるような取組みをすることが、「明るく閉じる」ことに繋がっていくと思う。

③ 保護者からの意見調査の現状報告について

- ・現在のところ、学校協議会に寄せられた意見はなし

④ その他

- ・閉校まで2年ということで、引き続き学校協議会委員を引き受けて頂きたいと思っています。改めて連絡をしますので、よろしくお願いします。